## 広報用資料

## 【令和5年度】

- ◆まちづくり通信(年5回発行)
- ◆西部地域がめざすまちの実現に向けて
- ◆バリアフリーまちづくり

## バリアフリーまちづくり通信



発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927 ←東淀川区役所のホームページでも詳細を掲載しています 令和5年5月号

### 第43回 まちづくり構想部会を開催しました 令和5年5月11日

豊新地域 での取組 を紹介 「豊新地域保健福祉計画」の策定から約5年が経過し、活動状況を踏まえ 今後の方向性を話し合いました。

#### ワークショップの開催方法

- ◎参加者:各団体の代表と前回の計画策定に関わった人に声かけし、関心のある人は地域を問わず誰でも参加できるように広報
- ◎開催日:事前に6回の開催日(令和5年1月~3月)を決め、関心あるテーマに参加できるように工夫した
- ◎テーマ:「豊新地域保健福祉計画」の各分野(高齢者・障がい者を地域で支える、安心して暮らせるまちづくり、防災・防犯、子どもを地域で育てる、魅力的なまちづくり)
- ◎開催場所: 豊新憩の家
- ◎開催時間:午後7時から概ね1時間半

ワークショップの進めかた

- ◎司会進行:地活協会長
- ◎アドバイス:地域課アドバイザー2名
- ◎ルール:1テーブル8人以下、一人1回は発言する、批判はしない。
- ◎進め方:情報提供のあと、保健福祉計画の分野ごとに「新たな課
- 題」や「解決策」について意見交換
- ◎準備するもの:マジック、ポストイット、「豊新地域保健福祉計画」を 写した模造紙

情報交換 & 意見交換

公園の新たな活用につながる

## パークファン

(みんなで公園活用事業)の募集 を紹介し、情報交換&意見交換を 行いました。



地域での「桜を見る会」や「〇〇まつり」のほか、他都市での指定管理者が主催するイベントや、最初は住民ひとりが始めた「公園にいこ一えん」といった自主的な企画など、いろいろな意見や事例の紹介がありました。

#### ◆パークファン事業(大阪市):

公園を活用した取り組みを企画段階から運営まで試行実施していただく 市民・事業者を募集し、公園をもっと自由な発想で柔軟に楽しく使いこなすもの

※地域活動協議会は、地域の「つながり」や「きずな」を活かして、地域の課題や問題解決、地域の活性化に向けて、みんなで取り組んでいくための組織です。「自らの地域のことは自らの地域が決める」という基本をもとに、地域に「住んでいる人」「働いている人」「通っている人」など地域に関わる方誰もが地域活動に参加でき、地域に関わる全ての方を対象にしています。

## バリアフリーまちづくり通信

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和5年7月号

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927 ←東淀川区役所のホームページでも詳細を掲載しています

### 第44回 まちづくり構想部会を開催しました 令和5年7月13日

広報活動 について 「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会(以下「協議会」)」の活動内容や取り組みを区民の皆さんに広く知っていただくため、広報活動について話し合いました。

区から、従来の区ホームページのほか、「まちづくり通信」などを作成し・配布/掲示するなど、協議会の様子を地域の皆さんにお伝えしていきたいとの提案がありました。 〈参加者意見〉

- ・プロジェクト(例:JRおおさか東線・阪急京都線連立)によって、まちが今後どのように変わっていくのかをわかりやすく伝える資料を作成してはどうか。
- ・(協議会は)まちの変化に対して、地域では何をしていくのかを議論・検討する場。そのような 視点で広報すべき。
- ・地域の意見や要望がすべて叶うわけではないが、協議会は地域の意見をまとめていく場。 地域からの意見/提言が少しでも反映されたことの事例をまとめ、紹介するのはどうか。
- ・プロジェクトの進行・完了によって、地域や生活がどのように変わったのかを一つずつ検証していくべきだ。





情報提供 & 意見交換 前回に引き続き、公園の新たな活用を目指すパークファン(大阪市 みんなで 公園活用事業)に関連して、他の自治体での**身近な公園の使いかた**について、情報提供&意見交換を行いました。

#### ◆パークファン事業(大阪市):

公園を活用した取り組みを企画段階から運営まで試行実施していただく市民・事業者を募集し、公園をもっと自由な発想で柔軟に楽しく使いこなすもの

- ・まちづくりコンサルタントから、東京都、名古屋市、神戸市、高槻市などの公園の事例、大阪市の中之島公園などの事例が紹介され、公園でどのような活動ができるかを考えました。
- ・部会員からは、公園内や近隣地域のごみ箱の実情についての報告や、ポイ捨てや路上喫煙を減らすための方策について提案がありました。
- ・久教授(近畿大学総合社会学部教授)から、路上喫煙・歩行喫煙の禁止に向けた先進自治体の取り組み事例などの紹介がありました。
- ・大きな公園を企業(指定管理者など)が管理する方法以外にも、比較的小さな地域の公園を地元に根ざした組織が維持管理・運営を行っている事例があるかどうか、引き続き調査します。

## バリアフリーまちづくり通信

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927 ←東淀川区役所のホームページでは詳細を掲載しています 令和5年9月号

## 第45回 まちづくり構想部会を開催しました 令和5年9月14日

東淀川区西部地域における大阪市の取り組みや計画などについて、話し合いました。

### 柴島浄水場のスポーツ施設

◆柴島浄水場上系配水池上部空間の有効活用(大阪市): 柴島浄水場(20~22号)配水池の上部用地と「くにじまスポーツ」の用地を一体として、条件付き一般競争入札による25年間の事業用定期借地契約により貸付を行う。

「くにじまスポーツ」の建物や設備等を事業者に売却し、修繕・ 更新等のうえ、一体的に運営する。用途はスポーツ施設に限定 する。

- ・現在の「くにじまスポーツ」の料金体系に配慮しつつ、地域のイベント利用など、地域住民にとって"オープンな場所"になってほしい。今後も進捗を報告してほしい。
- ⇒(市)12月7日に落札者が決定すれば、市のホームページで公表する。

#### 市民利便施設について









◆策定から20年近くが経過した「大阪市交通バリアフリー基本構想」について、市では10月から3月にかけて大規模ターミナル地区として新大阪周辺で基本構想を策定。身体障がい者など当事者の意見聴取を予定。

生活関連施設(支援学校、子育て支援センター)の利用する人や地域の 意見をも取り入れるべき。

⇒当事者団体の他にも関係者への 参加機会を区役所にて検討する。 新大阪地区 交通バリア フリー基本 構想

# 情報提供 & 意見交換

#### 前回に引き続き、身近な公園の使いかたについて

- ・まちづくりコンサルタントから、大阪市建設局の「官民連携による公園の活性化に向けたマーケットサウンディング」の内容が紹介され、中小規模の公園(東淀川区内には65公園)でどのような活動ができるかを考えた。
- ・部会員からは、「地域の公園の管理運営について、短期間で地元でコンセンサスを得ることは難しい。提案の締め切りに間に合わない場合はどうすればよいか」、「マーケットサウンディングは今回1回だけではなく、今後も実施されるのか?」などの質問があった。
- ・久教授(近畿大学総合社会学部教授)から、「対象となる公園は複数でも提案が可能となっているが、例えば東淀川区全部の公園の維持管理となれば、大きな企業しか参加できない。例えば小学校区など、ある程度の規模に絞れば、地活協のなかからも手が挙がるのではないか」との意見があった。

## バリアフリーまちづくり通信



発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927 ←東淀川区役所のホームページでも詳細を掲載しています 令和5年11月号

## 第46回 まちづくり構想部会を開催しました 令和5年11月9日

東淀川区西部地域の各地域のアクションプランの検討状況について、話し合いました。

## 豊新地域



新庄地域

啓発地域

- H30.3に区内で最初に計画策定した地域です。策定から5年が経過し、計画の更新に向けてワークショップを開き、社会の出来事や地域では何をしてきたのかを整理しました。
- ・コロナ禍ではあったが、豊新地域では、その間何もしなかったのではなく、感染症対策を工夫することで、いち早く地域活動の再開に取り組みました。
- イオンスタイル東淀川・東淀川区・豊新地域の3社で「包括連携協定」を締結。開業にあわせ、災害を想定し、イオンの駐車場に避難する訓練を実施しました。
- ・NPO法人やフードバンク、地域住民の協力を得て、金曜日の朝に「子ども食堂」を開き、登校前の子ども達に朝ごはんを提供。創立50周年を迎える小学校で"桜の通り抜け"を実施。 地域の緑である「豊新の森」をみんなで育てる地域活動などを行っています。
- ・豊新地域の1年後に計画を策定。豊新地域をお手本に、社協中心に保健福祉計画の見 直しを進め、アクションプラン策定を進めていきたいと思います。
- •「子ども食堂」のかわりに、土曜日に「駄菓子屋さん」を開き、児童の約半分にあたる140 数人がやってきました。障がい者支援も取り組んでいます。
- 子どもに力点を入れており、学校では国語の学習に特に力を入れていて、学力テストでは 全国や市の平均を超えたそうで、他の科目への良い影響を期待しています。
- 民間賃貸に住む一人暮らしの20代・30代が突出して多く、外国人も多数住んでいる一方で、神社・仏閣が多く残る、特徴的な地域です。
- ・他の地域に比べ町会加入が少なく(約10%)、地域のイベントにも若いファミリー層の参加が少ないため、多くの方に参加してもらうための方法を工夫していきたいと思います。
- ・子育てサロンは、他の地域からの参加者も増えているので、地域の外から見た意見なども取り入れ、アクションプラン策定に向け、ゆるやかに取り組んでいきたいと考えています。

### 淡路地域

- ・コロナ禍もあり、まちの活動の一体感が薄くなってしまい、アクションプランの策定に向け た議論を行う体制づくりに苦労しています。
- ・人と会うことが避けられた結果、地域の活動が細分化して活動しているように感じています。地域のなかでバラバラな"端切れ"のようになってしまっている活動を、つぎはぎでもいいから"まちという一枚の布"にしていければよいと思っています。

## 情報提供 & 意見交換

- ・ 今、学校は「働き方改革」で、先生や職員は授業以外の活動に参加しづらくなってきています。イベントに子ども達(とその保護者)だけで参加できる方法を模索しています。
- まちや地域には、得意分野に長けた「スペシャリスト」や、 まち全体を見て、まとめていく「ゼネラリスト」、様々な活動 をまとめていく「プロデューサー」などの人材が必要だとい う経験を踏まえた意見が多く出ました。
- ・豊新地域では5年間を振り返り、まちの将来を考えるワークショップを実施してみて、普段地域でそれぞれ活動されている方たちみんなで意見交換をすることで、"地域が目指す目標について目線を合わせる"ことができ、バラバラな課題をくっつけることができたと感じているそうです。



次回も引き続き、東淡路・柴島地域、下新庄地域、菅原地域、西淡路地域について、ご報告いただく予定です。

## バリアフリーまちづくり通信

発行:東淀川区役所 地域課(企画調整)

令和6年1月号

大阪市東淀川区豊新2丁目1番4号 電話:06-4809-9927 ←東淀川区役所のホームページでも詳細を掲載しています

## 第47回 まちづくり構想部会を開催しました 令和6年1月11日

東淀川区西部地域の各地域のアクションプランの検討状況について、話し合いました。

東淡路·柴島 地域



下新庄地域

- 令和5年度にほとんどの事業を再開しましたが、はじめは、集まること自体がまず難しい状況でした。できることからぼちぼちやってきて、なんとか4年間の空白を取り戻したような気がしています。
- 令和6年度に地活協の補助金が改正されるということで、秋頃から各部会ごとに会計の説明会を行い、区の方にも説明に来てもらって、先を見据えた形で意見交換をしています。今後、各事業の見直し、予算配分の再検討など、1年をかけて話し合っていきたいと思います。
- ・2月3日に集まって、これからの取り組みについて議論を拡げていきたいと考えています。
- ・コロナ以降、今年は事業や活動がほぼ復活しました。主な活動をご紹介します。
- ・子ども食堂は毎月最終土曜日に、子ども達にカレーを100円(おかわり自由)で提供。 毎回100人前後が参加しています。
- ・5月は鯉のぼり、6月は小学1年生向けのイベント「シャボン玉で遊ぼう」、7月は小学校で「サマーフェスタ」、8月のパレード(暑さのため室内開催)・盆踊り、学校でのミニキャンプ (カレーづくり、花火大会、映画など)、10月は「ふれあい敬老会」(社協と合同開催)、11月はだんじりまつり・たいこまつり、12月はイルミネーションにあわせてイベントを開催。
- ・参加した子ども達はとても楽しそうで喜んでいました。2月には、学校で餅つきを予定。
- ・駅周辺の高架化工事は、橋脚など一気に進んできたので、まちの将来がイメージしやすくなったと思います。2月に地域での意見交換会を開催予定です。
- ・子ども達と高齢者の安全、子ども達のためになる活動、一人暮らしの高齢者向けの取り組 みなどについて、考えていきたいと思います。

西淡路地域

- 新大阪駅周辺について、国の都市再生とあわせ「世界と日本/関西の玄関口」といった大きなことが書かれていますが、実際に生活者の目線でまちづくりを進めていけるよう、地域の皆さんと意見交換をしながら最終調整を進めていきたいと思います。
- もと西淡路小学校跡地については、売却せず定期借地などで活用する方向になったそうです。現在も旧校舎などを地元の方が使っていますので、利活用に関する地元の意見をとりまとめていきたいと思います。

菅原地域

- 協議会の取り組みについて、区が町会長会に説明に行くことで調整しています。
- ・ 菅原地域では、連合の活動もあるが、町会ごとの活動が活発と聞いています。

情報提供 & 意見交換

- ・ 久教授(近畿大学総合社会学部教授)から、「東淡路・柴島地域の報告のように、予算の見直しやコロナ禍の影響で従来やれていたことができなくなるのは、"本当に必要なものを吟味して考えるための棚卸し"のような良い機会だと思う。1つ1つの活動をどうするか。どれかを廃止しなければならないのであれば、今後取り組んでいくべき"大きな柱"を考えたうえで、優先順位を考え、ストーリーの中で納得してもらう。継続するのであれば、その活動を"大きな柱"の中にどう位置付けるのか、次の何十年間についても考える。この"大きな柱"がアクションプランにも繋がるのでは。」とのお話がありました。
- ・久教授や部会長から、大学生・高校生など、まちづくりに関心のある若い人たちに、もっと地域の意見交換や活動に参加してもらえるようになるとよい、という意見が出ました。



## 西部地域のまちづくりプロジェクト

## **1** JRおおさか東線が開業し、JR淡路駅が設置されました(H31.3)

JRおおさか東線は、城東貨物線の複線化・電化を行い、新大阪駅から久宝・寺駅に至る旅客線が整備されたものです。JR淡路駅が平成31年3月に開業し、阪急淡路駅との乗り換えなど新たな人の流れが生まれました。令和5年、3月には大阪駅までの運行が開始され、重要な交通インフラとなるとともに、新たな区の玄関口となっています。





#### ⑤ 区内の歌島豊里線が全線開通します (令和13年度完成予定)

西部地域の東西方向の主な移動は、府道大阪高槻線に頼っています。都市計画道路歌島豊里線が開通すると、JR新大阪駅方面と東部地域の行き来が飛躍的に改善されます。 現在、阪急京都線から千里線までの区間が未整備ですが、 阪急連続立体交差事業による高架切替後、道路整備が予定されています。



#### ② 開かずの踏切が解消されました(H30.11)

「開かずの踏切」で有名だった宮原踏切(北・南)はJR東淀川駅の南北に位置し、東西の往来が不便でした。

JR東淀川駅の橋上化にあわせバリアフリー化された歩道橋が併設され、安全に線路の東西を行き来できるようになりました。





#### **③** 新たな新幹線により全国とつながります

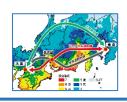
リニア中央新幹線は、東京・名古屋・ 大阪間の3大都市圏を約1時間で結び、 国土の構造を変え、日本の国際競争力 を強化し、日本人のライフスタイルを も変えるきっかけとなることが期待され



も変えるきっかけとなることが期待されています。

北陸新幹線は、首都圏、北陸圏及び関西圏をつなぎ、各地域間の交流・連携を強化し、我が国のさらなる成長・発展を支えるとともに、東京・大阪間の2大都市圏をつなぐ国土軸の3重化により、首都機能のバックアップ体制の整備、大規模災害に強い国土形成に資する極めて重要な高速交通インフラです。





#### ❸ 阪急の高架化により、踏切がなくなります

(令和10年度 高架切替·令和13年度完成予定)

阪急淡路駅を中心とした京都線3.3kmと千里線3.8km(淡路駅、崇禅寺駅、柴島駅、下新庄駅)の高架化が進められています。 | 7箇所の踏切が除却され、歌島豊里線などの交差道路や関連側道の整備により、都市交通の円滑化や鉄道で分断された市街地の一体化が図られます。









#### 7 柴島浄水場用地活用検討がはじまります

将来の水需要を踏まえ、浄水場のダウンサイジングが実施されます。ダウンサイジング後の土地有効活用と、新大阪・大阪エリアのまちづくり構想を踏まえ、検討が始まります。



#### 4 淡路駅周辺の街並みが整います

(令和13年度完成予定)

淡路駅周辺地区は、阪急淡路駅を中心に商店街が形成され、老 朽木造建物が密集した市街地で した。

現在、阪急連続立体交差事業に あわせ、良好な市街地を形成す るため、駅前交通広場、道路や 公園、良好な住環境の整備など 、区画整理事業が進められてい





「こぶしの」みのりちゃん

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会

R6. 3

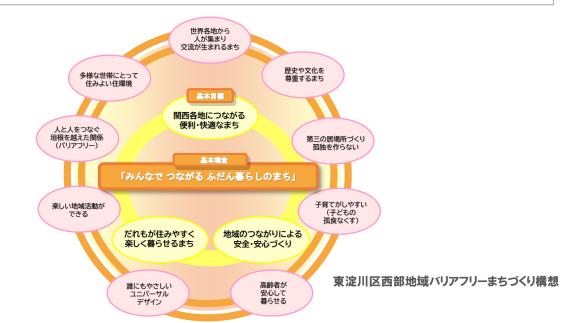
## 西部地域がめざすまちの実現に向けて



東淀川区の西部地域は集中的な都市基盤整備により、まちの様相が大きく変わりつつあります。また未利用地が点在し、柴島浄水場上系の公用廃止に伴いまとまった土地が生み出されるなど、大きな潜在力があります。

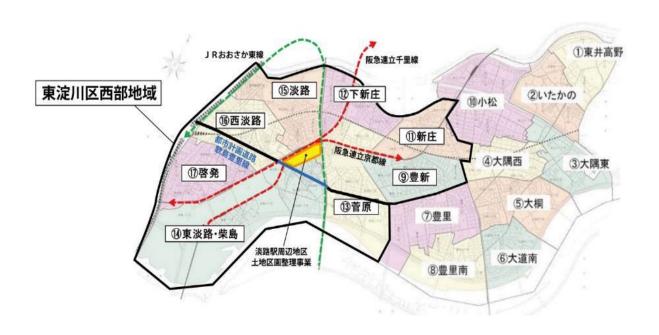
整備の主体は様々ですが、良好なまちづくりに繋げるためには長期的視野に立った方向付けが必要となります。また、都市基盤整備に合わせた安全な歩行空間の確保など、安全・安心なまちづくりを望む地域の声を反映させていくことで、より地域に根差したまちづくりが可能になります。

「東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会」は、多様な主体の連携や協働により、まちのバリアフリー化や都市基盤施設の有効利用、未利用地を活用したまちの方向性など、未来に向けたソフト対策の理念と目標を示す「まちづくり構想」を策定しました。今後さらに、地域毎に議論を進め、地域の将来像や施策の方向性・事業などをまとめた「アクションプラン」の作成に取り組んでまいります。

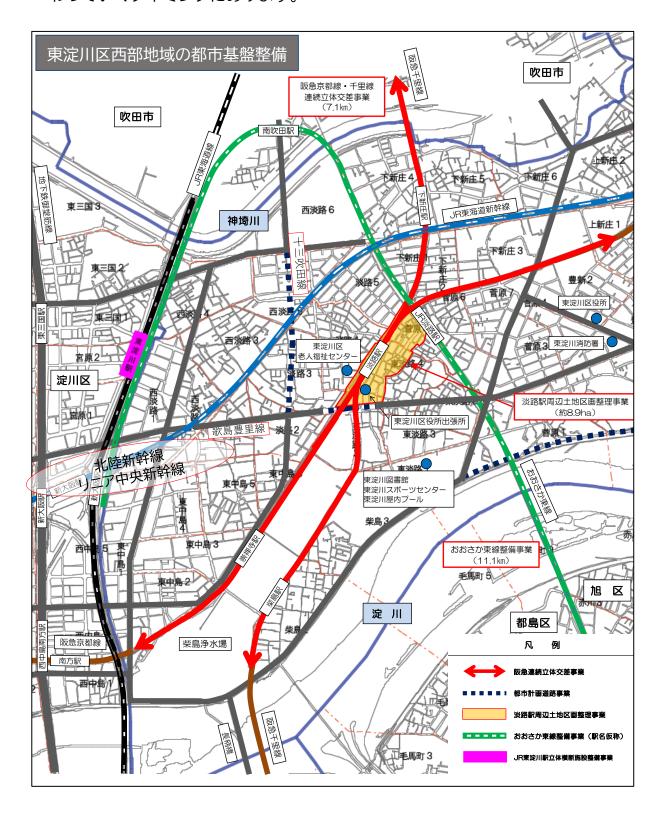




## 東淀川区西部地域 バリアフリーまちづくり



東淀川区西部地域は、阪急京都線・千里線連続立体交差事業や淡路駅周辺地区 土地区画整理事業、平成31年3月に開通したおおさか東線の鉄道整備や歌島豊里 線などの都市計画道路整備が進められ、都市基盤整備により大きくまちの形が変 わっていくタイミングにあります。



### ≪バリアフリーまちづくり協議会≫

#### (構成)

- ◆ 学識経験者
- ◆ 各地域活動協議会等の会長等
- ◆ 各事業者・行政の代表者
- ◆ 会長は区長が努める
- ◆ 事務局は区役所が担う

#### (役割)

- ◆ 基本方針や方向性の確認
- ◆ まちづくり構想の提案 など

#### ≪まちづくり構想部会≫

- ◆ 課題整理や解決手法の検討
- ◆ 関連する事業計画の情報提供や連絡調整
- ◆ 構想の作成に向けた調整・協議
- ◆ まちづくり構想案の作成
- ▶ まちづくり構想実施に係る連絡調整 など

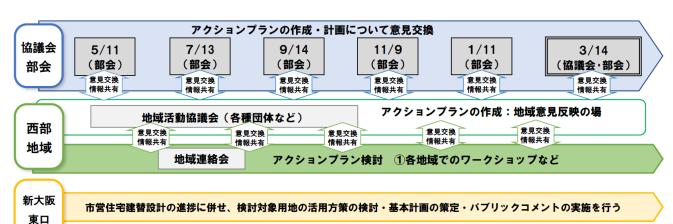
### ≪新大阪東口まちづくり部会≫

- ◆ まちづくり対象は駅東口からおおむね0.5kmの半円内
- ◆ 地域の現状把握や課題整理など必要な情報収集
- ◆ 市営住宅配置計画案の提案
- ◆ 私有地等処分後の「まちづくりの方向性」の提案
- ◆ その他、まちづくりに必要な事項 など

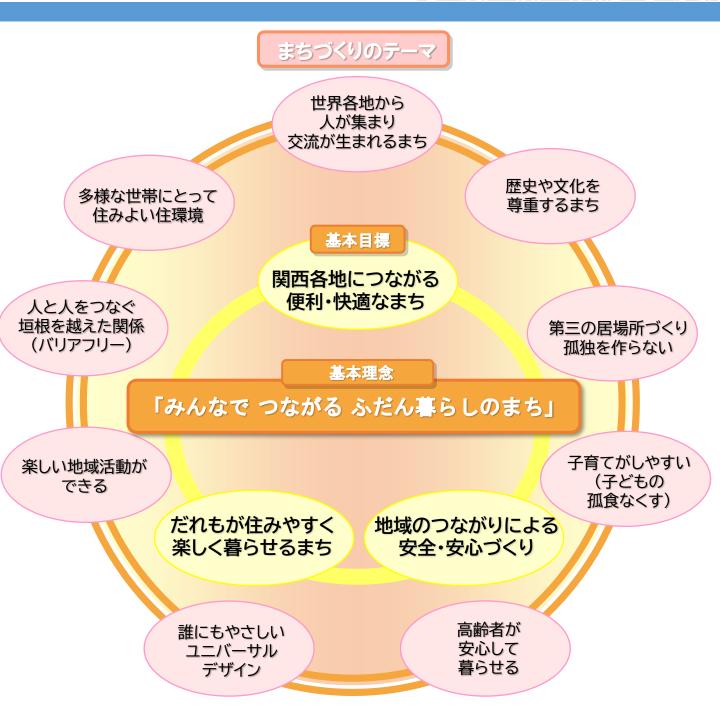




■ 令和5年度の取り組み



東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会が平成28年に設置され、地域住民・事業者・行政による議論を経て平成30年3月に策定されたまちづくり構想をもとに、アクションプラン策定や新大阪駅東口まちづくりの取り組みが進められています。



東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり構想は、新大阪駅東口を含む広域的な範囲のまちづくりの方向性を示したもので、「みんなでつながるふだん暮らしのまち」を基本理念に、3つの基本目標のもと、具体的なまちづくりの方向性を描いています。

ここでは、地域に住むひとびとが安心して暮らせるまちや新大阪につながる便利・快適なまちの姿が示され、出会いや交流などの相乗効果を生み出す方向が示されています。

まちづくり構想の実現に向け、各地域のアクションプランを策定し、具体的な 取組みを進めることとしています。